

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医務費

事業名 地域医療確保施設設備整備事業費補助金 (地域医療介護総合確保基金)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療福祉連携推進課 医療人材確保係 電話番号：058-272-1111(内3278)

E-mail：c11230@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 36,348 千円 (前年度予算額： 27,515 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	27,515	0	0	0	0	0	27,515	0	0
要求額	36,348	0	0	0	0	0	36,348	0	0
決定額	36,348	0	0	0	0	0	36,348	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県内の医師数は全国平均数を大きく下回っており、県内においても医師の地域偏在が存在する。このため、県内における医師確保、とりわけ医師不足地域における医師確保が課題である。

(2) 事業内容

主として医師や看護師の確保を目的として、市町村(一部事務組合含む)が主体となって実施する施設の整備及び医療機器等の設備整備等の地域医療確保策(ハード事業)に対し、補助を行う。

また、地域の民間医療機関等が実施する同種の地域医療確保策に対し市町村が補助する事業についても補助対象とする。

【補助率】 1/2 1市町村当たりの補助対象事業額の上限 30,000千円

【対象事業】

- ・医師等の医療人材の着任が見込まれる場合、またはその招へいに際して当該者から赴任の条件とされている場合等の次の費用
 - ア 施設・住宅の整備にかかる費用(用地の取得費等を除く)
 - イ 医療機器等の設備整備費用
- ・地域の民間医療機関等が実施する同種の事業に対し市町村が行う補助
- ・上記以外で、医療人材確保の必然性を有すると知事が認める施設・設備整備事業

(3) 県負担・補助率の考え方

事業費全額について地域医療介護総合確保基金を充当

(4) 類似事業の有無

地域医療確保事業費補助金

市町村が主体となって実施する地域医療確保策（ハード事業）を補助対象とした事業であり本事業と異なる。

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	36,348	市町村が主体となって実施する地域医療確保策(ハード事業)に対する補助
合計	36,348	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想

第7期岐阜県保健医療計画

(2) 国・他県の状況

国は地域医療介護総合確保基金により、医療人材の確保を図ることを掲げている。

(3) 後年度の財政負担

引き続き、地域医療介護総合確保基金を活用する。

(4) 事業主体及びその妥当性

県内の全市町村に対し事業の周知・照会を行うことで、事業の活用を図る。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県内においては医師の地域偏在という問題もあり、特に医師不足地域における医師確保は困難な状況であります。

そこで、市町村が主体となって実施する地域の特性に応じた地域医療確保策を支援することにより、地域医療の確保を図ることを目標とします。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①人口10万人対医療施設従事医師数	173.0人 (H18)	224.5人	/	235.9人 (H35)	/	95.2%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。 令和2年度には、県内市町村が医師や看護師の確保を目的とする医療施設の整備及び医療機器等の整備事業に対し、以下のとおり実績があった。 県内4市町 20,280,000円</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和3年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。 令和3年度には、県内市町村が医師や看護師の確保を目的とする医療施設の整備及び医療機器等の整備事業に対し、以下のとおり実績があった。 県内1市 982,000円</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価) 3	県内の医療施設で勤務する医師等の確保に直結するため、事業の必要性が高い。
・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	令和2年度時点での医療施設従事医師数は224.5人、目標達成率は95.2%に達しており、効果が表れている。
・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価) 1	保健所を通じ、全市町村に対し事業の照会を実施しており、地域の実情を反映した事業の公募を行っている。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 本事業の継続により、地域における地域医療確保策が継続され、医師の地域偏在を緩和していくことが必要である。

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県内の医師不足や医師の地域偏在を緩和する、引き続き事業を継続する必要がある。
--